

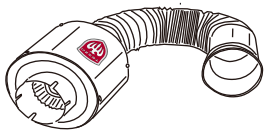


TEZZO 公式facebookもチェック!

2017-07 Vol.01

TEZZO News は、来店誘導、お客様との話題作りとなるNEWSを発信しています。

TEZZO News



アバルト124 スパイダー用 エアクリナー 新発売

■製品特徴

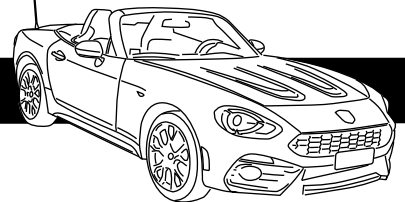
※価格は全て税別価格となります。

純正の板型フィルターから、ダブルコーンの乾式フィルターに変わること、吸入空気がダイレクトでタービンへ送られる。
また、純正のインテークダクトを一部活用することで車両前方から冷たいフレッシュエアーを取り込めるように取り回しの工夫を行った。エアクリナー本体も純正の樹脂クリーナーケースに比べ、カーボンケースとなるので、遮熱性が高く外部から取り入れたフレッシュエアーをそのまま送ることができる。

■価格

TEZZOカーボンエアインテークシステムforアバルト124スパイダー
¥55,000

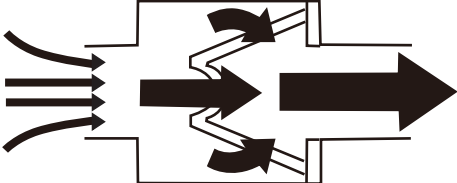
ABARTH



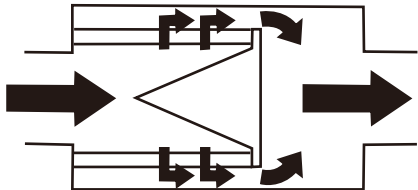
ここが違う!

→マークは、空気の流れ

<TEZZO製> センターインテーク構造



<他社製> コーン型構造



★空気の流れを比較して頂ければ一目瞭然!

センターインテーク構造の狙いは、フィルター表面積の増大による吸気抵抗と吸入エア量増加時のカーボンエアボックス内の負圧の低減にあります。

他社製のエアインテークシステムは、カーボンエアボックス内のフィルターの内側からエアを取り込み、ボックス内に装備された円錐に沿って流れてフィルターを通過します。フィルターを通過したエアはボックスの内壁にぶつかります。円錐を装備することでボックスが長くなるため低・中回転域でのレスポンス、トルクが向上しますが、高回転では乱流が生じ負圧となるため充填効率が落ちる要因となります。

一方、TEZZOが採用するセンターインテーク構造は、ホース内のエアはエンジン回転数上がるほどホースの中心部分を高速で流れ、内壁に近い部分では流速が遅くなります。この高速で流れるホース中心部のエアを効率よく利用して通常方式のエアインテークシステムよりも高い充填効率を実現しています。また、フィルター表面積の増大させながらもボックスの長さを抑えるという相反する課題を克服しました。